

癖の話です。

新潟市民病院

大石裕人

皆さんは癖をお持ちでしょうか。貧乏ゆすり、爪を噛む、髪をいじるといった有名処、関節を鳴らす、ストローを噛む、とんがりコーン®を指に嵌める etc…。興奮して上唇を噛む、会話中の沈黙に顎をしゃくり上げる珍しい人もいます。無くて七癖、癖は色々隠れているようです。人々の署名を見ていると、私も筆記の癖に気が付きました。

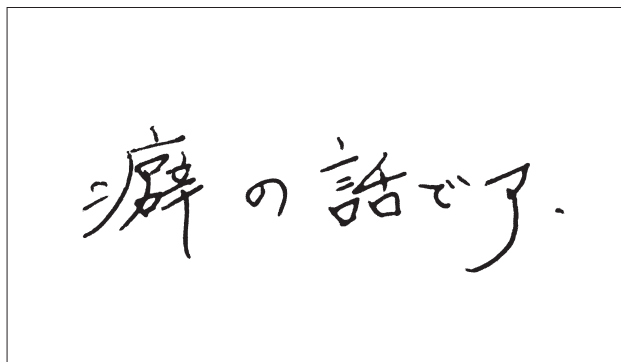
私の癖は3つあるようです。①漢字を平仮名より大きく書く事、②「す」を一筆で、払いを豪快に書く事（下図参照）、③最後に「。」を打つ事でした（ぜひ、お読みの方も試してください）。①は大学生の頃、文字にメリハリをつける為と記憶しています。残りの2つの癖は確実に高校時代の夏期講習の講師がきっかけでした。とある先生が熱弁をふるう勢いのままに、力が入ったチョークで信じられない長さの払いの「す」を一気に黒板に書き、ドカンと最後に「。」を打ったのです。なんて字を書くのか、変な癖だと思いつつも、だんだん気になり面白半分「す」の払いを長くしてみました。小気味良い、搔いてはいけないかさ

ぶたを思いっきり搔く様な痛快な心持でした。そして、最後に「。」を打つ。やり切った感がします(やると分かります)。やっではいけないと思った事がかえって悪かったのか、定着してしまいました。

癖には成立・定着のしやすい要素があるようです。大まかには、①出来るタイミングが不確定な場合ほどハマりやすい、②禁止されている程やった報酬が強い（心理的リアクタンス）、③短期的な報酬、らしいです。私は①唐突に表れた漢字や「す」、文末のタイミングで②よろしくないと思いつつ③即座に漢字を大きくし、「す」を払い、「。」を打って報酬系を稼働させ行動を自己強化している訳です。辞められないわけです。

さて、ここまでで読者の方に私の癖を真似した方はいるでしょうか。変だと思いつつ書いていたのではないですか。もう、あなたは私の癖仲間です。

良くないと言われがちな癖も、眉唾ですが爪を噛む戦闘機パイロットの成績が良かったなんて噂もありますし、日常の彩かもしれません。そんな、癖のお話です。



筆者直筆文